

帰国留学生のネットワーク形成支援事業

ー本田学長が島根大学元留学生インドネシア同窓会発足式へ出席ー

本田雄一学長が、11月8日（土）から12日（水）にわたり、安藤安則教授（国際交流センター）、増永二之教授（生物資源科学部）を同行して、1997年からの海外協定校であるインドネシア・アンダラス大学（インドネシア、パダン市）へ出張した。本出張の主目的は、島根大学元留学生インドネシア同窓会発足式と、アンダラス大学との協定書覚書の調印式への出席であった。

島根大学はインドネシア全体からこの12年間に30名の留学生、その内アンダラス大学から12名を受け入れてきており、これらの元留学生は現在インドネシア各界の中核となって活躍している。

島根大学元留学生インドネシア同窓会は、11月10日に設立された。同窓会の主目的は、帰国留学生の相互扶助であるが、更に優秀な留学生を島根大学へ送り込む人脈・拠点づくりも重要な役割として挙げられる。また、同窓会の組織結成は、島根大学の国際交流戦略上、世界の帰国留学生や海外協定校のネットワーク化を図る重要な第一歩でもある。

今回の出張では、アンダラス大学関係者、島根大学元留学生やその他関係者のご協力により、両大学の親密な人脈づくりと今後の学術交流促進に関する率直な意見交換ができた。



Ben 副学長， Kasim アンダラス大学学長と本田学長



同窓会発足式終了後の元留学生代表と
本田学長以下の訪問団